

# ぶんかざい おおた

## 第3号

平成 12 年 10 月 15 日発行  
(年 1 回発行予定)  
大田区教育委員会  
社会教育課文化財係  
〒144-8623  
大田区蒲田五丁目  
13 番 14 号  
Tel 03(5744)1449  
fax 03(5744)1539

地方分権がすすみ、特別区においても自治権が拡充されました。平成 12 年 4 月には、文化財保護法も改正され、文化財がより身近なものに見直されてきています。

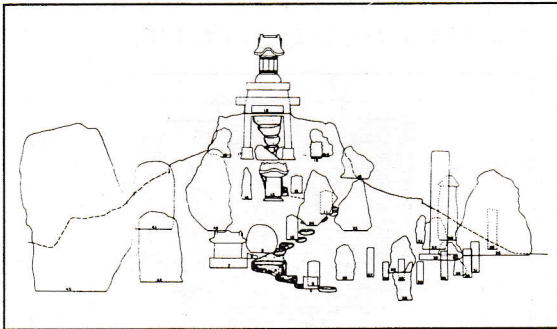
遺跡の記録保存も含め、文化財を後世に残し、地域の個性的な町並みや親しまれた街の建物を文化財として評価し、活かし、守り伝えていこう、と文化財に対する見方もかわってきています。今回は平成 11 年度に実施した文化財に関する事業を紹介いたします。今後とも文化財の保護になお一層のご協力をお願いいたします。

### 平成 11 年度大田区文化財保存事業報告

#### ★区指定文化財 富士塚（羽田神社） 保存修復

この富士塚は明治の初めに築かれたもので、俗に羽田富士とよばれています。

今回、富士塚の山頂付近、石祠台座の基礎部分が樹木等の影響を受け、敷石や盛り土のひび割れが生じ、石祠の傾き等が現れたため、ひび割れの充てん・つきかため等の補修を行い、石祠の傾きを直しました。



▲富士塚 立面図

#### ★都指定文化財 木造薬師如来・阿弥陀如来・釈迦如来坐像（安養寺） 収蔵庫修理（都費補助事業）

都指定の仏像等を収蔵している薬師堂について、火災報知器の設置、炭素繊維シートによる耐震補強工事を行いました。なお、

この工事の間、収蔵されていた仏像のうち、都指定の釈迦如来坐像・阿弥陀如来坐像（平安期の作）が東京国立博物館に、区指定日光菩薩立像・月光菩薩立像・十二神将立像が郷土博物館にて展示公開されました。

#### ★国指定重要有形民俗文化財 大森及び 周辺地域の海苔生産用具（区立郷土博物館） 保存修理（国庫補助事業）

平成 8 年度から始まった 879 点の海苔生産用具の保存処理（脱塩処理ほか）は、11 年度にすべてを終えました。

#### ★国指定重要文化財 本門寺五重塔（池上本門寺） 解体修理（国庫補助事業）

平成 11 年度は部材の補修や補充などの木工事や基礎工事が行われました。古材の修理のほか、炭素繊維板による部材の補強など、専門家による検討をもとに、現在取りうる最善の策を検討し、採用しています。

昨年 9 月 14・15 日には解体部材の公開展示を行い、約 1400 名の参加がありました。

本年 3 月に立柱式（起工式）が行われ、現在は第三層を中心に組立作業が進んでいます。

# 文化財近況報告

§登録文化財§ 文化庁は、平成8年10月から文化財の登録制度を導入しました。この制度は、外観を大きく変更しなければ、活用するために内部改装することもできるなど、積極的に活用しながら、規制をゆるやかにして保護していこうというものです。大田区内では、平成12年3月、新たに次の7件の建造物が登録文化財となりました。

※注意：公開は外観のみです。内部公開はしていません。

## 守屋家住宅主屋

大森北 3-22-26

昭和4年(1929)建築

昭和初期における質の高い和洋折衷の住宅

## 高橋診療所

山王 3-30-5

昭和6年(1931)建築

JR大森駅前の昭和初期に発展した町並みの面影を今に伝える。

## 河原家住宅主屋

南馬込 1-55-8

大正14年(1925)建築

学校建築を活用した時計台のある住宅として地域に親しまれている。

## 萬屋酒店

池上 4-23-6

明治8年(1875)建築

門前町の代表的な建物の一つ。江戸時代以来の町屋形式の建物。

## 鳳凰閣(旧清明文庫)

南千束 2-3-1

昭和8年(1933)建築

東洋文明の啓蒙活動を行っていた清明会の文庫兼講堂であった建物

## 鈴木家住宅主屋

田園調布 3-3-17

昭和初期(1930年代)建築

昭和初期の洋館住宅の特徴をもち、田園調布の町並みを代表する一つ。

## 吉川家住宅主屋

田園調布 4-21-16

大正末期(1920年代)建築

大正～昭和初期のモダニズム住宅の代表的な建築。

### 【登録文化財の基準】

築後50年を経過した建造物で

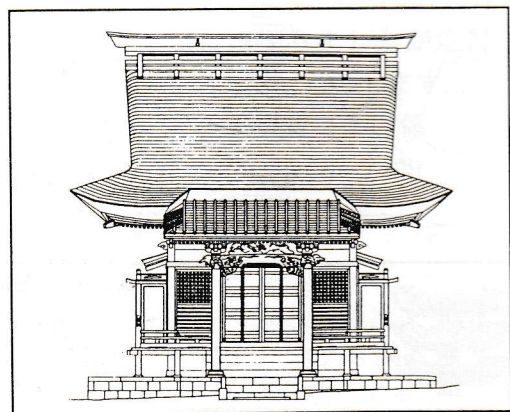
- ①国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ②造形の規範になっているもの
- ③再現することが容易ではないもの

## §指定文化財調査報告§

### 社殿(久原東部八幡神社)

この八幡神社は、神護元年(765)に宇佐八幡宮より勧進されたと伝えられます。『新編武蔵風土記稿』(文政11年)にも記されており、境内の鳥居や手水石などが文化年間の建立であることから、江戸時代後期には、周辺地域の多くの信仰を集めていたといえます。

現在の社殿は、北東を正面とし、本殿・幣殿・はいでん・はいでん・しんごが一棟で構成されていますが、明治18年に作成された神社台帳の図面では、社殿は東に面し、本殿と幣殿は別棟で描かれています。明治18年以降に、本殿と拝殿の間に幣殿が増築され、その際に社殿の向きをやや北よりに変えたとい推測されます。なお、今回の調査で社殿の建立年代を確認することはできませんでしたが、彫刻の特徴などから江戸末期(19世紀中期)の建立と推定されました。



▲正面立面図

# 埋蔵文化財ニュース

## 「多摩川台古墳群」が東京都指定史跡になりました。

(3月6日東京都公報告示)

■多摩川台古墳群は、武蔵野台地の南端部に位置し、多摩川下流域左岸の細長い段丘上の頂部に立地します。

この古墳群は、8基からなる古墳時代後期のもので、古墳時代前期の首長墓である亀甲山古墳(国指定史跡)と宝萊山古墳(都指定史跡)の間に築造されています。2つの大型前方後円墳とは時期と規模は異なるものの、多摩川下流域左岸一帯の首長墓の変遷を示す貴重な古墳群です。

■この古墳群については、昭和62～平成3年に調査が行われました。その結果、2号墳(円墳)が6世紀前半頃に築造され、この2号墳を前方部に利用して、従来の1号墳を後円部とした1基の小型の前方後円墳(全長39m、後円部径19.5m、前方部幅17m)が6世紀後半に築造されたことがわかりました。その後、7世紀中ごろまでの間に、3号墳～4号墳、5号墳～6号墳と並行して築造され、つづいて7号墳～8号墳の順に6基の横穴式石室をもつ円墳が相次いで築造されました。円墳の規模は、いずれも直径15m～19m内外の小規模な古墳です。

■古墳の石室内からは、副葬された直刀や鉄鏃等の武器、耳飾りや管玉等の装身具、馬具の轡、土師器や須恵器が発見されています。特に1号墳からは、須恵器と埴輪が

出土し、その胎土分析から須恵器は6世紀後半に大阪府陶邑で生産され、埴輪は埼玉県生田で生産されたものであることがわかりました。共に1号墳に運ばれて、須恵器は墳丘祭祀に供えられ埴輪は墳丘上に樹立されていたものと考えられます。

現在、多摩川台古墳群は大田区立多摩川台公園内に整備され、古墳展示室等の施設も併設され、緑豊かな憩いの広場となっています。

## 埋蔵文化財発掘調査報告

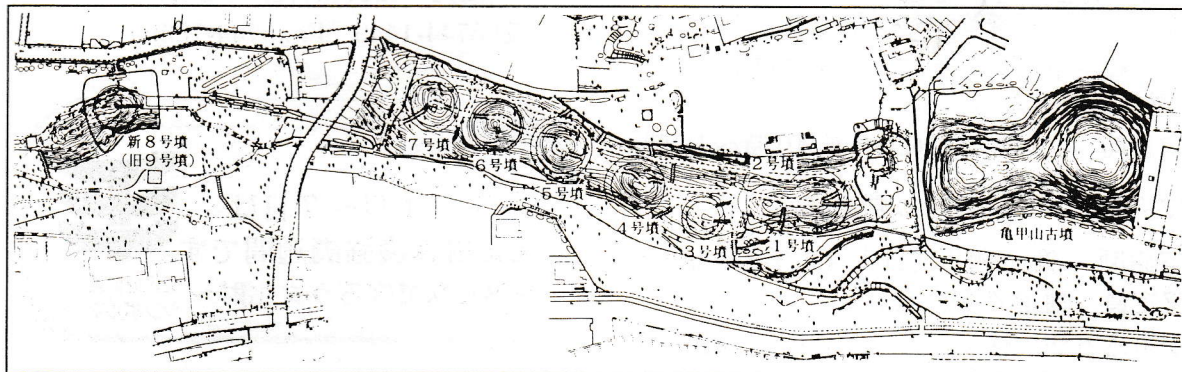
### 女塚貝塚

平成11年7月～8月初めにかけて、西蒲田四丁目において、共同住宅の建設に伴う発掘調査(調査面積211㎡)が行われ、調査の結果、古墳時代中期5世紀の水辺の祭祀遺構1基が発見されました。

この祭祀遺構からは、高坏を中心とする腕・環・壺・甕などの祭祀用の土師器、剣・有孔円板などの滑石製模造品、白玉・管玉などの玉類等、さらに鋤先や環状の鉄製品などの遺物が集中的に発見されました。この祭祀遺構は、呑川の西側畔にあたるため、水辺における何らかの祭祀儀礼が行われた跡と考えられます。

## 平成11年度埋蔵文化財調査

発掘届89件、試掘調査9件、確認調査3件、  
発見の通知1件  
本調査3件、西蒲田四丁目(女塚貝塚)  
久が原六丁目(久ヶ原遺跡)  
南馬込六丁目(梅田遺跡)



▲多摩川台古墳群と亀甲山古墳

# お知らせ

## 東京文化財ウィーク (11/3~12)

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

### ◆ 文化財ウィークマップの配布

10月中旬より、次のところにて、文化財ウィークマップを配布します。

▽配布場所 社会教育課文化財係・郷土博物館

### ◆ 文化財の公開

#### ① 「日蓮上人入滅の旧跡」

(池上 2-10-5 大坊本行寺)

11月6日(月)~12日(日)

午前9時30分~午後4時30分

#### ② 「法華経板木」 (大坊本行寺)

11月12日(日)

午前9時30分~午後4時30分

#### ③ 「池上本門寺宝塔」

(池上 1-1-1 池上本門寺)

11月5日(日)・12日(日)

午前9時~午後4時

#### ④ 「国指定史跡亀甲山古墳」

#### ⑤ 「都指定史跡宝萊山古墳」

#### ⑥ 「都指定史跡多摩川台古墳群」

(田園調布 1-63 多摩川台公園内)

全日程。終日。

▽参加方法 当日現地へ

### ◆ 文化財保護強調週間記念講演会

「多摩川下流域の大型前方後円墳」

▽日時 11月12日(日)午前10時~12時

▽会場 大田区役所 2階会議室

▽講師 梶 國男 (日本考古学協会会員)

▽定員 抽選で100名。

▽申込方法 往復ハガキ。住所・氏名・ふ

りがな・年齢・電話番号明記。10月30日(月)必着。(定員に満たない場合は、31日以降電話受付)。

▽申込先 〒144-8623 社会教育課文化財係 Tel5744-1449 Fax5744-1539

### ◆ 史跡めぐり「古墳探訪」

▽日時 11月12日(日)午後1時45分~4時 (大雨中止)

▽集合場所 多摩川台公園管理事務所前

▽コース 多摩川台公園古墳展示室・亀甲山古墳・多摩川台古墳群・宝萊山古墳・古墳石室(穴八幡)

▽定員 抽選で100名。

▽申込方法・申込み先 講演会に同じ

### 文化財パネル展

区内の遺跡調査・文化財保存事業などの写真パネルを期間中展示します。

▽日時 10月30日(月)~11月12日(日)、午前8時30分~午後5時

▽場所 区役所 1階ロビー

▽問合せ先 社会教育課文化財係 Tel5744-1449

### 文化財保護法 50年記念事業

#### ◆ 講演会

「塔のなりたち、塔の美しさ」

▽日時 10月28日(土)午後2時~3時30分

▽会場 大田区立池上会館

▽講師 国立歴史民俗博物館教授 濱島正士

▽定員 400名

▽申込方法 電話にて先着順受け付け。

※9月29日に締切りましたが定員に若干余裕があるので受け付けします。

▽申込先 社会教育課文化財係  
Tel 5744-1449 Fax5744-1539

11月1日~7日は  
文化財保護強調週間です。  
~みんなで守ろう文化財~

